

# SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 工藤設備工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を定めており、会社のあるべき姿を会議等で従業員に説明し共有している。 ・会社のあるべき姿の実現に向け、困難を克服し、新しい技術・事業に挑戦する文化が形成されている。							8	9								17					
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規程が就業規則に明記されており、重要性を従業員に向け発信している。 ・上記の就業規則は、社会保険労務士に相談し、定期的に見直しを行っており、社員がいつでも閲覧できる環境を整えている。															16						
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為禁止について、建設業法及び独禁法に則り業務を行うよう、全体会議の場で周知徹底をしている。										10						16					
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・自社の事業活動が社会・環境に及ぼす影響について把握するとともに、対応する担当者を任命し、組織体制を構築している。																16					
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・営業秘密等の情報については就業規則に定め厳重に管理している。								8.2 8.3	9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・書類における個人情報は、施錠できる場所にて保管、データにおける個人情報はウイルスソフトを最新の状況に維持し管理している。また個人情報の取り扱いに関する規程を定め、情報漏洩防止を徹底している。																16					
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・行政機関や取引先、地域住民等との相互理解や情報共有を図り、得られた意見を社内で共有、検討し適切に対応するよう努めている。															16	17					
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9		11			13.1	16	17			
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組んでいる。 ・技術者育成のため、若手技術者を現場代理人として配置している。								8	9								17				
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用条件、差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7						
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・入社時のアルコールチェック、各現場で作業前ミーティング、KY活動を強化し、予防安全に努めている。また、安全パトロールを強化し、安全行動を習慣化するよう努めている。				3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の公正な待遇を行っている。 ・厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」を理解し、ガイドラインに沿った体制の整備・運営を行っている。					5.5				8.5				10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理や業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。				3		5.5				8.5 8.8					10.3						
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格手当を支給し、各種資格の取得を奨励している。 ・技能講習や特別教育の取得に際しては、出勤扱いとし、経費は会社負担としている。					4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・会社負担にて、全社員の健康診断を毎年実施している。							3				8							17			
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・60歳定年以降も再雇用しており、高齢になっても活躍できる環境が整っている。(65歳以上が数名在籍)					4.4	5.1 5.5				8.5						10.2 10.3		16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・現場への直行直帰を許可しており従業員の接触機会を減らしている。 ・感染症対策として、非接触型体温測定器での検温の実施、消毒の徹底、パーティションを設置している。								3			8	9.1			11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●													8	9.1			11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●															3			4		8	9		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 工藤設備工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・現場での産廃分別の徹底及びマニフェスト伝票の管理を徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社屋全ての照明のLED化及び省エネ空調機への入替えを行い、消費量削減への取り組みを行っている。 【予定】2023年4月から簡易計算シートを活用し自社のエネルギー使用量の把握をする。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・建設機械は、排出ガス対策型を使用している。 【予定】2023年4月から簡易計算シートを活用し自社の温室効果ガス排出量の把握をする。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・産業廃棄物はすべてマニフェスト伝票にて管理している。 ・作業で使用する車両や重機は、排ガス規制、低騒音、低振動に対応したものを使用し停車時はアイドリングストップで運用している。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・再生路盤材等を使用し、資源の再利用をしている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所内設備は、節水器具や自動水栓を使用し、節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・資源を有効的に再利用する為、再生路盤材を使用している。 ・排ガス規制に適応した作業車、機械を導入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●								6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・オフィスの壁面緑化や敷地内に植栽を行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・LED照明の設置、社内空調機器の更新による省エネ化にて、エネルギー使用率の改善に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 工藤設備工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・各現場の安全パトロールを月1回以上実施し、安全の確認や品質の確保に努めている。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・社内すべてのトイレの改修を行い、誰もが利用しやすい環境整備に努めている。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・木材、生コン、砂、アスファルト合材、コンクリート二次製品は、熊本県産のものを優先的に使用し、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・災害発生時の上水道早期復旧、上水道の耐震化工事により、社会課題解決に寄与している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県、熊本市と防災協定の締結をしている。 ・同業組合主催の防災訓練、献血や清掃のボランティア活動に毎年参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・従業員にハザードマップを周知している。 ・工事書類の作成など、PCでの作業はサーバー内で行うことを徹底し、定期的にバックアップを取っている。				4							11.5		13.1			16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・井戸を保有し、災害時、地域へ開放している。 ・従業員が、地域の消防団に加入している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生のインターンシップの受け入れを実施している。				4				8.6		10.2									17	
	49	【若者の地元定着等】 若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元高校生を積極的に採用している。				4.4				8.5 8.6											17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15				17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。